

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#28 令和2年8月18日 ~家庭での感染防止について~

8月18日火曜日、かわさきコロナ情報をお伝えします。

まずは感染状況についてお伝えしていきます

本日18日発表の新規の陽性者数は22名となっています。累積でいきますと912名ということになります。

直近の3週間で詳しく見てまいります。

8月10日から16日の1週間ではありますが、新規の陽性者数は122名ということで、先々週の155人からはやや減っているということでもあります。入院されている方とは54名から60名ということで微増しています。コロナ用に病床270床確保しておりますけれども、この医療体制は逼迫している状況にありませんが、しかし入院されている方が増えているということは、非常に気をつけて現在見ているところでございます。

直近10万人当たりの新規陽性者数ではありますが、7.97人ということで、こちらも前週の10.13人から比べると減ってきています。

そして週あたりの陽性者増加比ということでもあります。0.79で国の基準の1を下回りました。1.52、1.57というところから0.79ということでもありますけれども、瞬間的にみれば、少し減っているように見えますが、高止まりしているのかなという見方で見た方がいいと思っています。

感染経路不明者の割合ですけれども、49%ということで、県の指標であります50%はちょっと下回っておりますけれども、直近1週間の陽性率というのは7.17、7.30ということで、少し高止まりしているかなと思います。

さて先週の状況を、今週も川崎市健康安全研究所の岡部所長に評価を伺っておりますので、そのまま読ませていただきます。

新規陽性者数は122人とやや減少となりましたが、入院中の患者さんの中には重症の方もおられます。できるだけ感染症の感染の広がりを少なくして、一人でも重症になる方を少なくするよう協力をよろしくお願いいたします。

お盆休みも終わりましたが、うだるような暑さが全国的に続いています。戸外や風通しの良いところで人と人との間隔が十分にあいているような所ではマスクを外し、良い空気を吸うことも健康のために大切です。また夏休みを利用してお出かけの際は、混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数でゆっくり過ごされることをお勧めいたします。ということです。

先ほどもこの評価でもありましたけれども、やはり患者数全体が増えると、その分重症化される方も必然的に増えていきます。1回重症で入院されると約3週間もベッドに入ることになりますと、やはり病床の回転数も悪くなるということで、医療の逼迫につながります。ですから、本当に徹底的に感染予防に努めていただいて、入院者、中等症以上の方を出さないという努力を、是非みんなで頑張りたいと思います。御協力のほどよろしくお願いいたします。

たします。

続いて、家庭での感染防止についてお伝えしていきたいと思います。

市内における新型コロナウイルス感染症の推定感染経路別発生割合ということで、先ほど申し上げたとおり、市内で 912 人の累積陽性患者さんがいらっしゃいますが、そのうち家庭内家族内で感染されたという方というのが、実に 13.9%、14%近くいらっしゃいます。

陽性者との接触が明確に分かっている方というのが 25.4%、大体 4 人に 1 人ぐらい。当然一番多いのが不明ということで、約 60%、6 割の方は不明になっているんですが、実に多いというのは、この家庭内というところに注目して少しお話しさせていただきたいと思います。7 月の後半 27 日から 8 月の 2 日、この時点では家族内感染は 9%でございました。週を追うごとに実は家族内感染が増えていまして、12%そして先週は 18%と徐々に増えております。

このコロナウイルスの二次感染力というところに注目したいんですが、患者さんとの濃厚接触によって感染するのは実は 5%ぐらいということで、今先行する研究などでは言われています。95%の方が接触しても感染しないということでありまして、この 5%の濃厚接触した方で感染した方が、どこからかという、実は例えばスーパーだとか駅だとかというところですれ違ったところだというのは、ほとんど感染していないと言われています。一緒に会食というのも大体 7%。そして家族内になりますと 10%~40%と非常に大きい割合になっているということなので、これについてさらに見ていきます。

年齢別に見ますと緊急事態宣言解除前いわゆる 5 月 24 日までなんですが、このときは御案内のように決して若者だけではなく各年齢層まんべんなく発生していたという形でありまして、5 月 25 日の宣言解除後は特に最初の頃もそうでありまして、20 代 30 代の感染者というのが急増しましたという形で、このぐらいになっています。

最近になりますと、ちょっと年齢層の広がりも見せてきていますが、圧倒的に 20 代 30 代が多いということです。

これは川崎市内ということではなくて国内全体の数字でありますけれども、死亡率あるいは重症化割合の年代別を見ますと、実は 50 代までの方というのは死亡率も重症化する割合も非常に少ないです。一方で 60 歳代以上の方になりますと、特に 80 代になりますと死亡率あるいは重症化率というのも高くなってまいります。ですから、こういった意味で家庭の中に高齢者がいらっしゃる御家庭は、是非家庭内感染を起こさせないような努力がより一層重要になってきます。

今申し上げた高齢者の方がいらっしゃる御家庭では、感染予防対策をしっかりさらにやりましょうということなんですが、一般的に常に言うておりますように手洗いあるいは消毒、それから会食などでは小皿にということでもありますけれども、いわゆる家庭内でもこういったことを心がけていただきたいということです。それからやはり家の中にあつて猛暑が続いておりますけれども、是非定期的に換気は行っていただきたいと思います。基本は外からウイルスを持ち込まないようにするということが何よりも大事でありますけれども、家庭内での努力も是非怠らないようにしていただきたいと思います。少しでも体調に変化がある、高齢者がいらっしゃる

御家庭では、変化があった場合、御心配な場合には、かかりつけ医ですとかあるいは川崎市の帰国者接触者相談センターなどにお問合せをいただく、御相談をいただくということも大事かと思えます。そうしていただきたいと思えます。

それでコロナ対策と同時に大変重要なのが、先週も申し上げましたけれども熱中症対策です。今、市内の医療機関でも、熱中症で救急搬送される方が急激に増えてきております。これは熱中症による救急出場件数、川崎市内の数字でありますけれども、8月始まった頃は、増加傾向にありますけど、まだそれほどでもありませんでした。

しかし8月の10日以降やはり気温の上昇とともに、全体の出場件数も増えていきますし、特に中等症以上の割合、重症者も含めて中等症が非常に増えているということでもありますので、是非ここは熱中症対策しっかりやっていただきたいと思えます。冷房をしっかりと使う、あるいは水分と塩分をとる、こういった基本的な熱中症対策を、特に高齢者の方あるいは子どもさんたちにも気をつけていただきたいと思えます。

この熱中症の症状とコロナの症状というのは、ぱっと見なかなか判断がつきにくいということで、救急搬送されてもこれがコロナなのかあるいは熱中症なのかという見分けがつきにくいということで、医療機関が非常に混乱します。そういった意味で是非このコロナ対策と同時に熱中症対策をしっかりやっていただくということが、とても大切だということを皆さんにどうか御理解をいただきたいと思えます。

そこで、先週も申し上げましたけれども、このコロナの時期にマスクを外してくれというのはなかなか言いにくい雰囲気ではありますけれど、しかし2メートル以上人と人との間が屋外で空いていて、十分な距離が保てているときには、マスクを外していただきたいと思えます。

そして激しい運動は避けていただいて、喉が渇いていなくてもこまめに水分を摂るということで、しっかりやっていただけるということが非常に重要です。コロナのリスクもありますけれども、熱中症のリスクというもの本当にバカにできない大変な重篤な事態が出てきています。川崎市内でも多数発生しておりますので、皆さんの御理解と御協力を是非お願いしたいと思います。

今日は私からは以上です。ありがとうございました。